

【0013・たんぽぽ舎・反原発資料『たんぽぽニュース』】

資料群概要

作成主体：たんぽぽ舎（代表：柳田真）

資料群名称：たんぽぽ舎・反原発資料『たんぽぽニュース』

年代：1989年4月から2010年9月まで

要約：

たんぽぽ舎のミニコミ誌、180号までの21年間のバックナンバー（180号のうち32号、78号が欠号）からなる反原発資料である。

総量：1箱21ファイル

受入番号：0013

言語：日本語、韓国語（少数）

資料群の管理と利用に関する情報

出所：

たんぽぽ舎が作成した反原発資料は、文書資料と映像資料（関連資料群0013、0014）からなり、『たんぽぽニュース』（以下、本資料群と略記）は、そのうちの一部分である。『たんぽぽニュース』は、たんぽぽ舎の発足した1989年より毎月発行されるミニコミ誌である。主に会員に向けて発行されるが、一般にも販売している。本資料群は、2010年9月号までの178点からなり、2010年10月8日、たんぽぽ舎の代表である柳田真氏より環境アーカイブズが寄贈を受けたものである。

また、たんぽぽ舎によって2010年までに収集された資料のうち、映像資料は環境アーカイブズにて原本を所蔵しているが、紙媒体の資料は、そのほとんどがたんぽぽ舎に所蔵されている。

他機関所蔵情報：

本資料群に関連する記事が、たんぽぽ舎のホームページ内にある「地震と原発事故情報アーカイブ」に掲載されている。

【参照】

地震と原発アーカイブ <http://www.tanpoposya.net/main/index.php?id=1226>

関連する資料群：

たんぽぽ舎の反原発関連資料のうち、環境アーカイブズ所蔵の資料としては、たんぽぽ舎から寄贈された関連文書資料（0013・たんぽぽ舎・反原発資料『技術と人間』）および映像資料（0014・たんぽぽ舎反原発(その他)映像資料）がある。

利用の形態：

原資料での閲覧

整理方法についての情報：

資料の寄贈を受けた後、環境アーカイブズのスタッフにより分類、目録が作成された。これを各号ごとにクリアポケットに入れた物を年度別に中性紙封筒に入れ保管している。リストの修正、資料群概要の作成および最終的な取りまとめは、大原社会問題研究所環境アーカイブズ RA 鄭育子（ちよん・ゆくちや）が行い、2015年3月に公開した。

引用する場合の表記方法：

たんぼぼ舎・反原発資料『たんぼぼニュース』、受入番号 0013、箱 1、各ファイル番号、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ

利用制限：

公開を目的として刊行された資料のため、特に制限はない。

作成者の権利について：

所有権は法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズにあり、著作権はたんぼぼ舎にある。

作成主体についての情報

たんぼぼ舎は、東京都千代田区に拠点を置く市民団体である。原発廃止と環境破壊のない社会を目指し、市民と公務員の参画により 1989 年から活動を開始した。これまで国内での勉強会、公害研究会や原発研究会、現地ツアーをはじめ、ニュース・パンフレット・小冊子などの発行、資料公開等の活動を行ってきた。その他、チェルノブイリ原発事故を契機として 1988 年から 2011 年まで食品の放射能汚染の計測を行っており、その結果はホームページで公開されている。

現在は、環境・反原発・地震・エネルギーの研究会活動、ニュース・パンフレット・小冊子などの発行等の発行、資料公開等の活動を行っている。また、2011 年より協力参加した原発反対自治体議員連盟（準）の活動は、現在も反原発自治体議員・市民連盟として継続するなど、様々なネットワーク活動も行っている。

【参考資料】

金慶南・柳田真・近藤ゆかり(2011)「環境アーカイブズとサスビナリティの探求」『サス研フォーラム講演記録集第 13 回』,法政大学サスビナリティ教育研究機構.

【ウェブサイト】

たんぼぼ舎ホームページ <http://www.tanpoposya.net/>

スペースたんぼぼ（映像配信ページ） <http://www.ustream.tv/channel/spacetanpopo>

反原発自治体議員・市民連盟 <http://nonukesjapan.org/>

資料群の内容

本資料群は、B4 サイズ、12 頁（発刊当初は 10 頁）の冊子からなる。2015 年 2 月現在では、1 カ月または 2 カ月に 1 回のペースで発行されている。主な内容は、原発関連記事、学習会・研究会のお知らせ・報告、イベント情報、書評などがあり、週刊で発行されるたんぼ速報も掲載されている。